

人は変わる。一緒なら。

太田市立太田中学校 二年 谷上 倫果

身の回りには様々な犯罪がある。特に私達中学生の年代に多いのは主に窃盗罪だという。中学生による犯罪は原則保護処分だけれど、犯罪は悪である。少年法では、将来のため配慮されていることがいくつもある。実名報道や死刑なども禁止されている。人として決して犯してはいけないことを犯した人のために与えられた最後の更生の機会。そのための配

慮だと思う。絶対に逃してはいけない。

社会を明るくする運動を調べていると、あのポスターを見つけた。生前、フラッグアーティストとして活躍した故・谷村新司さん（現在は名誉フラッグアーティスト）の写真が載っているポスターだった。まだ私が生まれる前のポスターだけれど、書いてある言葉が私には刺さった。

「人は変わる。一緒なら。」

この言葉に、私はとても共感した。独りで変



わろうと思っても内面から本当に変わることはとても難しい。生まれ持ったもの、性質や成長過程で作られた性格、考え方、思想はそう簡単に変えられるものではない。それでも、誰かと一緒にいれば、その人に影響されて、その人に支えられて、その人のためにも、変わることをできるのでないか、という意味が込められている気がしたからだ。そして、なにか嫌なことや悪いことが起こったとき、一人でいると悪い方へ悪い方へ：とマイナス

思考に陥った経験のある人も多いと思う。私は一人で過ごす時間も好きなタイプだが、やはりそのような経験がある。そんな時に誰かと過ごせたら、少し心が軽くなる感じがする。そんなことをこの言葉から思い出した。

人が犯罪を起こすのは貧困や環境、精神的なストレスなど様々な要因があると思う。例えば、衣食住が整わないとき。身体も心も不安定になる。また、人間関係がうまくいかなかったとき。勉強についていけないとき。特に私



達の年代は、友人関係や上下関係の悩みも多くなる。小学校と比べ、勉強の難易度も上がり、順位や進路も気になる。部活動でも、自分の思うようにうまくいかない時がある。私は美術部に所属している。ただ絵を描くのが楽しかった幼い頃とは違い、作品を仕上げるのにはプレッシャーやなかなか思うようには描けないもどかしさがある。友達の絵を尊敬しつつも自分の画力との差も感じる。勝ち負けが明確な運動部ならもっと色々なものを抱

えながら日々過ごしているのではないかと思う。そういった他人からは小さく思えるようなものだったり、一つ一つはほんの些細なことが積み重なり、ストレスから犯罪へとつながってしまふこともあるのではないだろうか。ストレスが犯罪への一因となってしまうのなら、自分の中に溜め込みすぎないことが大切だろう。自分の好きな音楽を聴いたり奏でたり、散歩をしたり、美味しいものを食べた

り。自分でも客観視できるように日記を書い



てみるのも良いかも知れない。人間関係でつまづいた経験のある人は、他人を信用するのは簡単ではないけれど、心を許せる家族や友人がいるのなら頼ってみることができればやはりとても心強い。

それぞれに与えられたたった一度きりの人生。自らの明るい未来を築いていけるように、よく考え、良い刺激を受け、周りを助け、そして時には人を頼りながら、誰かと一緒に私も強く生きていきたい。一人ひとりがそんな

意識で社会の一員として生きていけたら、明るい社会を作っていけるのではないかと思う。